



とよかわの

みつけた!

豊川市の観光資源を紹介します。

問合せ先 ● 市観光協会 89-2206



長篠の戦いで名をはせた鳥居強右衛門



市田町の松永寺の北東には、鳥居強右衛門勝商の生誕地を表す石碑があります。強右衛門は、織田信長・徳川家康の連合軍が武田勝頼軍を破った長篠の戦いで、大きな役割を果たしました。

天正3（1575）年5月、長篠城は勝頼軍に囲まれ落城寸前でした。この時、城主奥平信昌の家来であった強右衛門は、家康に援軍を求める使いとして岡崎城に向かいました。家康は求めに応じて救援に出かけることになり、強右衛門はこのことをすぐに知らせようと一人急いで引き返しましたが、武田軍に捕まってしまいました。勝頼は、「援軍は来ないから降参するように」と城内へ叫ぶように命令をしました。しかし強右衛門は、「援軍はすぐに来る。それまでがんばれ」という内容を叫びました。怒った勝頼は、城内の味方が見守る中で強右衛門をはりつけにしました。強右衛門の報告を聞いた城兵たちは城を守り抜き、その後の織田・徳川連合軍の勝利につながります。

松永寺には、はりつけの姿をかたどった木像も安置されています。使命を全うし、仲間を思いやる心を生誕の地で感じてみてはいかがでしょうか。

